

2012. 04. 24

ご支援をいただいたみなさまへ

お父さんたちのネットワーク
石垣政裕

支援のご報告25

－文化行事がしっかりできるようにスポットライトを届けたこと－

全国の学校を巡回公演も行うプロの劇団（青年劇場）から演劇などで使う1KWのスポットライトを4台いただきました。旅公演で使っていたとはいえ、まだまだ動いてくれるもので、色シート枠とハンガーもついていました。なによりも木製のケースが年季が入っており、「ううむ、全国の生徒たちにいい舞台を見せてきたなあ。第二の働き場でも活躍しろよ。」とでも言ってあげたいほどの使いやすさです。

お父さんたちのネットワークのメーリングリストを使って、ひきとっていただく場所を探してもらったところ、稲井小学校と中学校で手を挙げていただきました。ここは報告No. 19に書いたように、被災した渡波中学校と小学校が仮設校舎で隣接している地域で、校庭や体育館も互いに融通して授業や部活、学校行事を切り抜けているといった状態です。

4月16日「震災と演劇」に参加するために仙台を訪れていた、神戸の「劇団どろ」の合田幸平さん、岐阜の「劇団夜明け」の鈴木弘文さんとともに石巻を訪れました。

稲井おやじの会の千葉さんのところに立ち寄り、千葉さんと一緒に小学校、中学校と訪問しました。学校では、スポットライトのような器具は要求しても通らないということなのでよるこんで受け取っていただきましたが、実質的な津波の被害だけでなく、到る所にその歪みが残っているのをいまさらながら実感しております。

スポットを提供していただいた青年劇場のみなさま、ご同行いただいたお二人に感謝を申し上げます。



届けられたスポットライト